BULLETIN OF JAPAN BOOK IMPORTERS ASSOCIATION

洋書輸入協会会報

VOL. 11

(通巻 124 号) 昭和52年8月

理事会報告

6月26日(月)

- () (-) 4、5月分収支計算・予算対比表の検討。通信費の アップ率が高いので、一考を要することとなっている。
 - (二) 日ソ図書株式会社の入会(正会員)を承認。
 - (三) その他。

7月12日(火)

(一) 通産省から受託されて、社団法人流通問題研究協会

が、「輸入品の流通機構と価格形成に関する実態調査」 を行っている。洋書輸入業者の中から15社を選び調査 協力をお願いする由。

- (二) 6月分収支計算・予算対比表の検討。
- 三 事務局寺久保氏夏期休暇 7月29日~8月5日。
- 四 丸善より理事会出席メンバーとして、従来の柴田氏 より、鈴木氏に交代の旨発表と挨拶とがあった。

文化厚生委員会だより

囲碁同好会箱根集会

囲碁同好会では7月9日~10日石毛七段、時本五段の 両先生のご出席を得て、箱根の日本棋院寮桜湲荘にて一 泊の碁会を催しました。

毎年梅雨どきのため雨に降られるのが今年は幸い好天で、箱根登山鉄道に沿って咲く紫陽花の色も美しく、さすがは箱根。梅雨どきのむし暑さもなく、毎回ご出席の洋販渡辺社長は参加のご予定が急用のため残念ながら欠席されましたが、同好会石内会長、文化厚生の鈴木委員長をはじめ参加総勢20名 A組、 B組と 2 組に分れ深夜まで熱戦を展開、成績は次の通り。



理事会報告	1
文化厚生委員会だより	1
一囲碁同好会—	
K.593をめぐる眞贋問答	2
(その一)	
本の本 No.4 ······	4

おしらせ4	
会員紹介5	
外国出版社の紹介 No.51 5	
海外ニュース6	
来日外人名簿6	

通関制	钴計 6
新入会	ミ員のお知らせ6
総代理	理店ご案内6
広告	日本出版貿易株式会社 … 8

(A 組) (B 組)

(三 洋)野津浩二 (メクレンブルグ)鈴木和夫

(洋 販)小沢秀夫 (テクニコン)楯 研一 優勝 準優勝 (ゲーテ)村山新吾 (洋

各組優勝者、準優勝者には賞品と共に石毛先生自筆の 色紙と扇子が贈られました。

(幹事 三洋 武田)

譍 問 答(その一) K. 593 をめぐる 直

中 野 吉 郎

T兄

三 位

暑い日曜日です、お元気ですか。

また、K. 593 のことを書きます——というのはちょ っと魂胆がありましてね。先日、ある出版社から原稿を 依頼され、思案の挙句、ここ2週間ほど、貴兄と手紙で やりとりしたことなどを纒めて、責をふさごうかと考え ているからです。原稿の下書きを見せるようで、貴兄に は申訳けないのですが……

(一一ことの始まりは、もう30年以上も趣味を通じての 友人で、某大学の建築学のT教授が、ふと洩した次の 言葉がだった。

最近、Grumiaux の新しいレコードを聴いたら、 Mozart の 〈弦楽 5 重奏曲二長調K. 593〉の終楽章が、 これまでのどのレコードとも、Eulenburg の小型総譜 とも違うように思うのだが……というのである。

この曲は、彼も私も深い愛着を寄せている作品のひ とつで、特に終楽章のポリフォニックな構成が素晴ら しく、世に有名なト短調K.516以上に価値あるもの、 まさに〈室内楽のジュピター〉であると、共鳴し合っ ていたものである。早速、私はレコードをかき集め、 8種類ぐらい聴いたが、なるほど、GrumiauxとHeutlingのものだけが違う。この疑問には、残念ながら所 謂レコード解説をはじめ、手持ちの日本語の文献には、 全く何にも答えてくれるものがなかった。

――それから数日後、BBC 発行のA・H・King著 〈Mozart Chamber Music〉(1968年) 中に、次のよ うな記述のあるのを発見した。

『この終楽章の唯一の正しいテキストは Bärenreiter 出版の〈新 Mozart 全集〉第8巻(1967年)のもので ある。他のすべての版は、フィナーレの冒頭が、半音 施下行でなく、ジグザグの全音階下行になっている。 これは Artaria が1793年初版印刷のとき、何者かの手

によって書き変えられたコピーを用いたことによるも のであろう。これは単なる誤植ではなく、楽曲の性格 をも変える程の改変であり、今日流布されているレコー ドの演奏は、殆んどすべてのものが間違っている』

この衝撃的な解説をT君に書き送ったのが、第2信。 彼からは折り返し、今度は喜びに溢れた文面で、『…… わが意を得たりと、思わず膝を叩きました。Mozart 後期の表現として、絶対に半音階下行であらねばなか った筈だ!』とあった。

――しかし私は、この名作のイメージの突然の変貌 になかなか馴染めなかった。こうして第3信を書くこ とになったのである)

小生の耳が鈍いのでしょう。半音階下行の方が正しい だろうこと、後期の Mozart の作風によりふさわしいだ ろうこと、それは頭では解っているのですが、小生の耳 には Budapest の、あの張りのあるジグザグ下行の音が 深く刻まれ、何となく納得のいかぬ想いのまま、数日が 経ってしまいました。まだ、肝心の〈新 Mozart 全集〉 を見ていないので、この改変の経緯がよく解らないので すが、昨日、O・E・Deutsch の(Mozart-Die Documente seines Lebens> (1961年) の中で、非常に興味 ある記述を発見し、小生なりの推理が、次から次へと拡 がって来ましたので、お伝えします。

その記録は、1791年の Mozart 未亡人の手紙で、文中 にK. 593に触れており、それを受けて Deutsch が注記 して、K.593 (とK.614) の初版の楽譜 (これがおそら くジグザグ……中野註)の扉には、イタリア語で『ハン ガリアのアマトーレのために作曲』という献辞が記され、 このアマチュアとは、モラヴィア生れでヴァイオリンを 奏く Johann Tost であろうと書いているのです…〈昨 年、小生が白水社から翻訳出版した。 B・Aulich 著 〈Sie Alle liebteu die Musik〉のTostの章を思い出し

て下さい!)

さらに1800年、Breikopf 出版社に Mozart 未亡人が渡したという、作品一覧のメモの中に、K. 593の自筆原稿(これがおそらく半音階下行……中野註)が含まれています。K. 593に関する記録としては、Deutsch の本にはこの2ヶ所しかありません。(余談ですが、このような場合に、多くの権威ある海外図書につけられた、完璧なRegister 索引には、いつもながら感心させられます。

一さて、半音階か、ジグザグか、どちらが、Mozart の真意なのか、という論争がおそらく今世紀の半ばまで続いていたのでしょう。そして1960年までは、両方とも Mozart の手になるもので、彼自身が半音階からジグザグに訂正したというのが通説であったと想像します。それには証拠があって、かの A・Einstein が〈Mozart・Sein Charakter, Sein Werk〉(1947年)の中で『この改訂によって、……はじめてその自然さと魅力を得るにいたったのである』(浅井真男氏訳)と、Mozart 自身のジグザグへの改変を非常に高く評価しているのです。後期の Mozart に、あのように高い見識を持つ Einsteinが……と驚くのですが、これは別の面から見れば、この改作が非常に巧妙であるという証拠でもありましょう。

では、この改作の犯人はいったい誰なのか!? また、なにゆえの改作なのだろうか!?

Mozart 後期の作品に見られる半音階の使い方は、彼以外の誰にもない、全く独自のものです。その綾なす光と影は……といった種類の文学的表現は、古今東西のモーツァルティアンから数えきれないくらい沢山聞かれるのですが、実際の音から受ける印象の半分も言いあらわし得た言葉を知りません。『どこへつれて行かれるのか、わからないような恐しさ』という、貴兄がいつか言われた言葉が、小生には一番好きな表現です。

Beethoven などがやった、ペダルで攪拌して、最後の 字あまりは5連音符などで辻棲を合わせるといった半音 階とは根本的に違います。Mozart の場合は、少くとも 音のつなぎ以上の何ものかでした。

また、ジグザグの動きは Haydn の常套手段でした。 ジグザグの方が、弦楽器の場合演奏がしやすく、リズミ カルに奏きやすいのです。Beethoven も好きでした。あ の〈ヴァイオリン協奏曲〉など、それだけで出来ている ようなところが沢山あります。

--- Mozart の作品の Haydn 風な書き変え、いか

にもプレイヤー本位の改作、さらに妙な献辞の印刷――この3点から、小生は東海の、一素人音楽史家として、この改作は Johann Tost の手によるものと推定いたします。

Tost は、Esterházy における Haydn の楽団のコン サート・マスターを長く勤め、同時に Haydn の作品の ヨーロッパ各地でのセールスマンでもありました。後年 織物工場主になってからも、合奏の仲間に加わりたいば かりに、Spohr の作品を高く買い、コピーして配り、 貴族社会へのパスポートにしようとしたという実績もあ ります。1791年頃といえば、Tost は織物工場を持つ貴族 のアンナと結婚し、羽ぶりをきかせ始めた頃でした。ジ プシー生れの成金商人で、ヴァイオリニストという謎の 多い人物です。きっと、金に困った Mozart 未亡人から なにがしかの金でK.593を買ったか、借り出したかして、 Mozart が自分の為に書いた曲だと、偽りの献辞をつけ、 あちこちと持ちまわったに違いないと思えるのです(未 亡人が亡夫の遺品を、他人に献呈する権利があるとすれ ば、この献辞は偽りとばかりはいえないのかも知れませ ん)。そして、何よりも、Einstein まで騙しおおせたその 改作の巧妙さ、これはMozart の死後出版までの2年間、 実際にこの作品を演奏した有能なプレイヤーが、演奏し ながら少しづつ、少しづつ書き変えて行った(そして結 果的には30小節も)と考える以外に考えようがないので はないでしょうか。それが出来る立場にあったのは献辞 をうけた Tost 以外に考えられるでしょうか。全体の構 成には少しも手をつけず、アマチュアの特権を利用して 別にさしたる罪の意識もなく、ほとんどフレージングか、 ボーイングを変える程度の気易さで、買いとった Tost 自身の演奏技術が十分発揮できるよう改作して行ったよ うに思われてなりません。

これが、僅かの資料からの、まことに短兵急な、小生 の推理です。

(それから2、3日後、Bärenreiter の〈新 Mozart 全集〉第8巻を見た。それには書き変えられた自筆原稿の写真まで掲載されていた)

(NHK勤務)

——以下次号——

A History of the Oxford University Press.

By Harry Carter. Vol. I: To the Year 1780. (Oxford Univ. Press, 1975.)

八木佐吉

オックスフォード大学出版局史。第一巻。本書はハリー・カーター著で、全2巻または3巻と予告されている大著である。この第一巻は1975年4月にオックスフォードのクラレンドン・プレスで印行され、同出版局から発売されたものである。8折判(23×15.5cm)、前付31ページと本文索引共で640ページの大冊で、表紙はバックラム装の堅牢でしぶい製本である。著者カーターは大学出版部の公文書管理職である。従来"The Oxford University Press; a Brief Account"という大学出版局の略史を記した書物が1908年に出版されたこともあり、その他の同類の書物もあるが概歴が多い。このたびの本書は、著者カーターの職務柄というか、同大学にある古記録、印刷関係の古資料を充分に利用しての記述で、もっとも充実した大学出版局の歴史書である。

Dominus Illuminatio Mea (主はわが光明)というエンブレム (象徴的紋様)で象徴されている出版部の母体オックスフォード大学は12世紀の創設であるが、記録としてはパリから来た Robert Pullen (?-d. 1147?)という神学・哲学者でのち法王の枢機官となった学者の講義などが初期のものだそうであるが、なんとしても古い歴史をもつ学園である。そこに、いわゆる大学出版部 University Press が創設されたのは、活版印刷発明ののち、ウイリアム・カックストンがイギリスで印刷事業を始めて間もない1497年とのことである。

いろいろのプレスが併存していたが、いまでは The Clarendon Press がもっとも有名であろう。ここは、 First Earl of Clarendon (Edward Hyde, 1609-1674) が政治家として自らが体験したイギリス内乱史 History of Rebellion and Civil Wars in England. (Published, 1702-1704.) を書き遺したのをオックスフ ォード大学で出版して、その権利金を基金とした印刷 所であって、18世紀前半ごろの創設である。有名な William Blackstone O Commentaries on the Laws of England. 4 Vols. もクラレンドン・プレスで 1765-69年に印行されている。Oxford English Dictionary もクラレンドン・プレスで印刷されている ことご存じの如くであり、多くの学術書がこのプレス から生れている。この第一巻にはオックスフォード大 学出版局の草創から1780年までの歴史が語られていて 興味ぶかい。なお付録として同出版局の出版書の1690 年から1780年に至る90年余の目録が、年次別で添えら れていて便多いことである。

なお、これは本書にかかわることではないが、近ごろの身辺の洋書広告のオックスフォード大学出版物に特に Oxford at the Clarendon Press とわざわざ書添えてあるのをときに見受けるが、あれはむしろ単にOxford University Pressと大づかみにしておくべきではないであろうか。購読者にはむしろまぎらわしいことと思う。

- - \sim

-お し ら せ‐

西ドイツのリプリント出版社。Detlev Auvermann 社は、その在庫品、企画などを Topos Verlag (Vaduz, Liechtenstein) に委譲しました。 これに伴い、 Directory にある Auvermann 社の販売総代理権は Topos Verlag にひきつがれました。

会 員 紹 介

宣伝広告・美術・建築書の専門店をめざして

ブックマン株式会社 〒 531・大阪市大淀区豊崎 3 丁目 1 番18号 淀川ビル ☎(06)371-4164

今年で設立10周年を迎え、当初は社会・人文・自然 科学関係の分野の輸入販売会社としてスタートした。 以来9ヵ年の間に宣伝広告・美術関係へと次第に移行 して、現在に至っている。

営業活動は 100 %の訪問販売であるが、その方法は 残念ながら即現物主義という旧態依然の感があるとの ことである。マーケットにおける顧客の好みは千差万 別で、特に文字の多い本は敬遠され、写真・イラスト・ カット等の記載された、つまり視覚に訴えるカラーフ ルなものが絶対的に要求されている。扱い書の中には 図版そのものが一つの情報源として成立し、アレンジ する事によって、そのまま使用できるというメリット のある本も増えている。

テリトリーは関西であるが、マーケットは4~5人 の所が多く、極小業者だけに、これからの営業開発が 課題となってきている。

知識情報産業の国際化という認識の一つとして、欧米では買収・合併等が活発に行れているが、国内の洋書業界ではその可能性の方向は如何なものであろうかと、この会社は考えている。情報産業として将来の比重が高まっている時期にあたり、関西におけるデザイン書専門の洋書店としての先兵の夢を描きつつ大きな役割を占めたいというのが、この会社の努力目標である。

·外国出版社の紹介 No. 51~~~

George Philip & Son Ltd.

当社は初代の Mr. George Philip (現在の当社会長は第四代) が1834年に英国リバプールで海図の製作・印刷業を始めた時をもってその創業としています。以来、海図から一般地図、歴史地図、道路地図、観光地図、地球儀、地図帳とその製作範囲を拡げ、現在はGeorge Philip Group として従業員250名を擁する地図専門出版社としてはヨーロッパ最大の規模を持つに至っています。

当社の特色は、長い経験と優秀な技術をもつ地図の 製図職人を四十数名かかえ、自社の印刷部門をもって 製図から印刷・出版まで一貫した業務を行っているこ とです。近年世界的な傾向として優秀な地図製図職人 の数が不足しており、その意味からも当社の製図部門 の声価が高まっています。

George Philip Group (計8社) の営業内容は下記の通りです。

- (1) 出版——各種の地図、地図帳、海事・船舶関係書、 地理関係書、地球儀、一般教育図書を出版していま す。
- (2) 他社出版物・宣伝物の製作――当社の誇る製図及び印刷技術を提供して製作・印刷を請負っている部

門。例えば世界各国の出版社から刊行されている地図、地図帳の多くは当社の製作になるものです。又、あらゆる業種の会社からの注文に応じて、宣伝及びギフト用の地図、地図帳、ポスター、デスクダイアリー等を各国語で、社名入りの注文製作を行っています。例えば Esso、Shell 等の石油会社が社名入りで配布している道路地図を年間 250 万部受注しています。

(3) 小売 Edward Stanford 社 (12-14 Long Acre、London)という地図、地理関係書の専門書店を経営し、世界中の出版社から刊行されている地図、地図帳類をあつめて展示・販売しています。

現在日本で最も売れている Philip 社の出版物は Concorde Atlas、University Atlas、Library Atlas、Modern School Atlas、Pocket Atlas 等の地図帳ですが、最近当社は日本でも上記の社名入りオーダー・メイドの地図や地図帳の受注(和文も可)も開始しています。これら宣伝及びギフト用製品の製作に関するお問合せは当社の日本代理店である U.P.S.へご連絡下さい。

(U.P.S・小林 記)

海外ニュース

「英国1~6月出版統計」

英国の1977年 $1 \sim 6$ 月の書籍の総出版点数は17,033点であった。このうち12,782点は新刊、4,251点は重版ないし改訂版である。

この数字を前年同期と比較すれば、新刊は 447 点増、 重版は 610 点増、合計では1,057 点、6.6 %の増加である。 前年同期においては、1975年同期の数字よりも12.3% も減少した。その際、減少の理由としてはインフレ、郵 送料上昇、国内市場の不況などが挙げられていた。これ らの重荷は一向に軽減されていないにもかかわらず、出版 点数は再び上向きに転じたわけである。

分野別に見ても殆んどの分野で出版点数は増加している。ただし、教科書、産業、商業および教育の4分野のみは減少している。なかでも教科書は、1975年の1,188点が1976年には820点に、さらに1977年は684点へと過去2年間で42%以上も減少している。産業、商業、教育は、1年間でそれぞれ26%、13%、9%と減少しているが、これらは政府予算のカットが直接影響していると思われる。

小説は10%増加して2,239点、政治は15%増加して1,378

点であった。児童書は1,191点で2%の増加にとどまっている。 (The Bookseller、7月2日号より)

「米国出版社の売上高 |

米国出版者協会(AAP)が発表した統計によれば、 1976年のアメリカの出版業界の総売上高は4,185 百万ドルで、8.7%の成長を示した。この数字はこれまでの最高記録である。

分野別に見れば、前年より低下しているのは、ハードカバーの児童書(-0.5%)、小中高校教科書(-0.5%)、 その他(-6.8%)の三分野だけである。これ以外の分野はいずれも上昇しているが、伸び率の大きいのは、あらゆる種類のペーパーバック(16%)——但し成人向トレードペーパーバックは5.6%のみ——通信販売(24.7%)、ブッククラブ(13.1%)、あらゆる種類の専門書(11.5%)、聖書以外の宗教書(12.3%)などである。予約制参考図書は毎年上下を繰り返しているが、1976年は11%の上昇を示した。

一般にいわゆるトレードものの伸び (4.4%) に比較して専門書の伸び (11.5%) が目立ち、専門書の中でも医学書の伸び (16.3%) がいちぢるしい。

(Publishers Weekly、4月4日号より)

——紀伊國屋書店提供——

来日外人名簿

7月上旬 Mr. Morrie Helitzer, General Manager, McGraw-Hill Publications Co.

" Mr. Robert Baensch, Vice President, Harper & Row

通関統計

は含まない。

外国貿易概況 (大蔵省関税局編、日本関税協会発行) 1977年4月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和52年4月\$ 8,248,000 1月以降累計\$36,784,000 昭和51年4月\$6,979,000 "\$30,699,000 (註) この統計は、CIF価格で10万円以下の少額貨物

新入会員のお知らせ

今回下記のかたが会員として入会されましたので、お 手許の会員名簿にご記入願います。

正会員

日 ソ 図 書 株 式 会 社 代表取締役 菰 田 尚 夫 氏 〒112 東京都文京区水道1-5-16 ☎(03)811-9190代

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。 お手許の Agent List にご記入願います。

(株) 極東 書店

265 - 7531

Chapman & Hall (England)
Meek, R.,

Smith, Marx and After. ca. 200 pp. 1977	Churchill Livingstone, Edinburgh McDonald, G.A. et al.: Atlas of Haematology, 4 ed. (Jan. '78 Pub.)		
Fondazione Giangiacomo Feltrinelli, Milano. Catalogo dei Periodici. 3 vols. 1977 cloth ¥72,000	and Angiocardiography, 3rd ed. (Sept. Pub.)¥8,8		
Zentralantiquariat der DDR (E. Germany) Beckmann, Johann, Vorbereitung zur Warrenkunde, oder zur Kenntniss der vornehmsten ausländischen Waaren. Bd. 1-2, Stück 1-2 (alles Erschienene). Nachdruck (Göttingen 1793-1800). Ins. XLII, 930 S. 1977 Ln. ¥28,800	Marcel Dekker, Inc., New York Immunology Series Vol. 5: The Lympocyte in 2 pts.; Structure a Function, Pt. II (July Pub.)¥13,5 S. Karger AG., Basel Contributions to Nephrology Vol. 7; Kidney in Systemic Diseases (July Pt		
Topos Verlag (Liechtenstein) Herwegh, Georg (Hrsg.), Einundzwanzig Bogen aus der Schweiz. Erster Teil (alles Erschienene). Nachdruck (Verlag des Literarischen Comptoirs, Zürich u. Winterthur 1843). Mit einem Nachwort von E. Th. Mohl. IV, 336 S.	Vol. 8; Mechanisms and Recent Advances in There of Hypertension (Fall Pub.)¥13,7 Frontiers of Hormone Research Vol. 4; Melanocyte Stimulating Hormone (Fall Pub.)		
Lage und Kampf der Landarbeiter im ostelbischen Preussen. Bearb. von H. Hübner, H. Kathe, K. Steudtner. 2 Bde. Vom Anfang des 19. Jahrhunderts bis zur November-Revolution (Archivalische Forschungen zur Geschichte der deutschen Arbeiterbewegung Bd. 8/1 u. II). ca. 800 S. 1977:9	Mohn, J.E. et al.: Human Blood Groups; Proceeding of the 5th International Convocation on Immunol (July Pub.)		
Der Wächter am Rhein. Ein deutsches Volksblatt. Hrsg. von F. Stromeyer u. J. Venedey. Nr. 1-115. Nachdruck (Manheim 1832). 490; 51 S. 1977 ¥42,500 Die Zukunft. Organ der Deutsch-Französischen Union. Hrsg. von W. Münzenberg. 81 Nos. Paris Okt. 1938—Mai 1940. Nachdruck in 2 Bdn. 1977 ca. ¥119,000	Kugler Medical Publications, Amstelveen Fisch, U.: Facial Nerve Surgery (July Pub.)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
丸 善(株) 272~7211	Watson, C.: Basic Human Neuroanatomy, 2nd (June Pub.)		
D'Ambrosia, P. D. (ed.)—Musculoskeletal Disorders: Regional examinations and differential diagnosis. 550 illus. '77. ca 544 p. (Lippincott) Ready in October	The C.V. Mosby Company, St. Louis Montgomery, R. et al.: Biochemistry; A Case Orier Approach, 2nd ed. (June Pub.)		
Soil Mechnics and Foundation Engineering: Proceedings of the Fifth Budapest Conference, Budapest, October	North-Holland, Amsterdam Vinken, P.J. & G.W. Bruyn: Handbook of Clir Neurology		
12-15, 1976. Ed. by A. Kézdi and I. Lazányi. '77. (Akademiai Kiadó) Ready in September ca. ¥12,250	Vol. 31; Congenital Malformations of the Brain Skull, Pt. II (in Prep.) \foating 39,200 (33,3) Raven Press, New York		
北尾書籍貿易 ㈱ ☎06-203-5961	Advances in Neurology Vol. 18; Hemi-Inattention and Hemosphere Specture 2 varion (July Pub.)		
A Colour Atlas of Meat and Poultry Inspection. By Geoffrey S, Wiggins & Andrew Wilson. 136 Pages. 339 Color Atlas. (Wolfe Medical Publications Ltd.)	The Williams & Wilkins Co., Baltimore Handbook of Physiology Sect. 1; The Nervous System, Vol. 1; Cellular Biol		
	Of Neurons in 2 vols., 2nd ed. (in Pr		
(株) 医 学 書 院 ☎ 814-5931 Aesculapius Publishing Company, Birmingham	Atlas for Computerized Tomography (July Pub.)		
McCabe, B.F. et al.: Cholesteatoma; Ist International Conference (June Pub.)	Year Book Medical Publishers, Chicago Davenport, H.W.: Physiology of the Digestive Tr 4th ed. (in Prep.)		

Meyers Enzyklopädisches Lexikon in 25 Bänden

・収録見出し25万項目・図版26,000・各巻約900頁 サイズ 157×247mm 背革表紙・本クロースの豪華装幀 1977/7月現在 19巻まで刊行 各巻 ¥19,000 すべての分野のドイツ研究者・資料室・図書館に必備のドイツ語2000年の すべてを凝縮した大百科辞典。

Duden—Das Grosse Wörterbuch der deutschen Sprache in 6 Bänden

Band 1: A-Ci¥7, 600	刊行済
Band 2: Ci-F¥7, 600	11
ドウーデン・ドイツ語大辞典。ドウーデン編集部の長年の経験と:	最新のド
イツ語学の進歩をふまえて総力をあげて世に問う最新、最大の現	代ドイツ
語辞典。年1~2回刊行、1980年完結。	

The English Duden	¥ 4,350
Der Grosse Duden in 10 Bänden@	¥ 4,080
Das farbige Duden-Lexikon in 3 Bd@	¥ 5, 120
Meyers Grosses Handlexikon in Farbe	¥ 5,440
Meyers Physik-Lexikon	¥ 9, 280
Meyers Grosser Weltatlas	¥23, 600
Meyers Neuer Atlas der Welt	¥ 3, 160
Meyers Grosses Bücherlexikon	¥ 9, 280
Meyers Kontinente und Meere in 8 Bd@	¥15, 600

BIBLIOGRAPHISCHES INSTITUT

日本総代理店日本出版貿易株式会社

〒 101 東京都千代田区猿楽町 I - 2 - I TEL (03)292-3751

昭和52年8月 通卷第124号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

〒 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

〒 530 関 西 支 部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329